

# 互助会報

令和6年7月22日

No.253

岩手県教職員互助会  
広報紙



## 表紙写真 格闘

【夏の部 最優秀賞】

達下 才子（元任意継続会員）

### 《撮影者のひとこと》

サケのつかみどりを撮影に行ったときの写真です。何回も逃げられても、あきらめずに果敢にサケを追いつき、自分の手で捕まえようとする姿に感動しました。

### 《講評》

三陸の河川へサケの遡上が希薄になって久しい。狭い生簀に入れられパニックのサケ、尻尾をつかまれて必死に逃げようとする魚の瞬間、女の子の表情、飛び散る水玉を見事に捉えました。

## CONTENTS

|                    |   |
|--------------------|---|
| 令和5年度事業報告          | 2 |
| 理事会・評議員会開催状況       | 3 |
| 事務局から              | 4 |
| 今、学校から             | 5 |
| ◎奥州市立羽田小学校 校長 鈴木恵子 |   |
| 互助会報表紙写真募集中        | 5 |

|                     |   |
|---------------------|---|
| わたしの見聞録             | 6 |
| ◎盛岡市立松園中学校 教諭 雨宮 克徳 |   |
| みんなの投稿広場            | 6 |
| ◎夏の部 佳作入賞作品         |   |
| 気になる健康アドバイス!        | 7 |
| ◎めまいとしびれ            |   |
| 岩手の文学風土誌 名作紀行       | 8 |
| ◎啄木と賢治のチャグチャグ馬コ     |   |

# 令和5年度 事業報告

## 会員数・被扶養者数

### 会員数の状況

| 区 分     | 令和5年度    | 令和4年度    | 増 減     |
|---------|----------|----------|---------|
| 正 会 員   | 12,162 人 | 12,373 人 | △ 211 人 |
| 特 別 会 員 | 702 人    | 711 人    | △ 9 人   |
| 任意継続会員  | 277 人    | 269 人    | 8 人     |
| 合 計     | 13,141 人 | 13,353 人 | △ 212 人 |

### 会員被扶養者の状況

| 区 分     | 令和5年度   | 令和4年度   | 増 減     |
|---------|---------|---------|---------|
| 正 会 員   | 8,547 人 | 8,916 人 | △ 369 人 |
| 特 別 会 員 | 499 人   | 530 人   | △ 31 人  |
| 任意継続会員  | 122 人   | 131 人   | △ 9 人   |
| 合 計     | 9,168 人 | 9,577 人 | △ 409 人 |

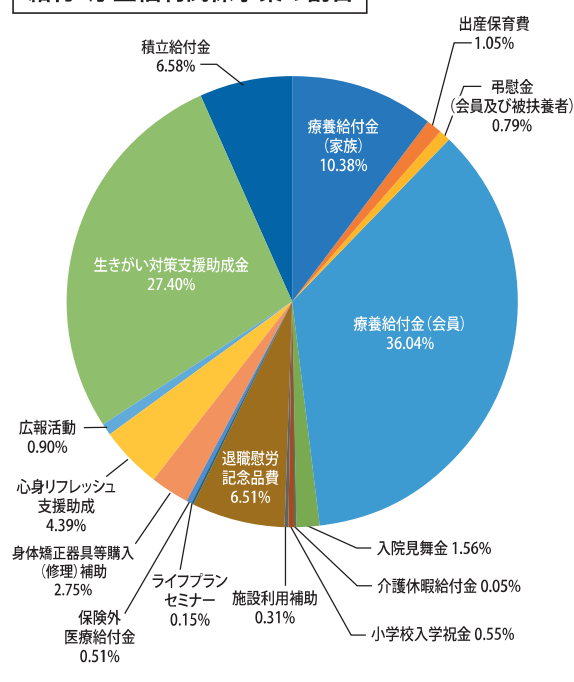
### 会費収入(掛金)の状況

| 種 別     | 令和5年度         | 令和4年度         | 増 減           | 掛金率<br>(給料+教職調整額+扶養手当) |
|---------|---------------|---------------|---------------|------------------------|
| 正 会 員   | 401,299,551 円 | 408,032,372 円 | △ 6,732,821 円 | 0.75%                  |
| 特 別 会 員 | 22,847,561 円  | 22,656,142 円  | 191,419 円     | 0.75%                  |
| 任意継続会員  | 8,212,741 円   | 7,960,058 円   | 252,683 円     | 0.65%                  |
| 合 計     | 432,359,853 円 | 438,648,572 円 | △ 6,288,719 円 |                        |

### 主な給付事業の概要

| 事業名      | 給付金合計(円)    | 事業内訳            | 給付額(円)      |
|----------|-------------|-----------------|-------------|
| 短期給付事業   | 65,129,880  | 療養給付金(家族)       | 55,319,880  |
|          |             | 出産保育費           | 5,610,000   |
|          |             | 災害見舞金           | 0           |
|          |             | 弔慰金(会員及び被扶養者)   | 4,200,000   |
| 厚生福利事業   | 286,779,986 | 療養給付金(会員)       | 192,094,080 |
|          |             | 入院見舞金           | 8,310,000   |
|          |             | 介護休暇給付金         | 266,280     |
|          |             | 小学校入学祝金         | 2,940,000   |
|          |             | 施設利用補助          | 1,634,075   |
|          |             | 退職慰労記念品費        | 34,670,000  |
|          |             | 遺児育英資金          | 500,000     |
|          |             | ライフプランセミナー      | 789,963     |
|          |             | 保険外医療給付金        | 2,732,780   |
|          |             | 身体矯正器具等購入(修理)補助 | 14,646,088  |
|          |             | ホームヘルパー雇用補助     | 0           |
|          |             | 心身リフレッシュ支援助成    | 23,387,800  |
|          |             | 広報活動            | 4,808,920   |
|          |             | 長期給付事業          | 146,011,000 |
| 特別弔慰積立事業 | 35,049,000  | 積立給付金           | 35,049,000  |
| 合計       | 532,969,866 |                 | 532,969,866 |

給付・厚生福利関係事業の割合



| 事業名  | 支出額合計       | 事業内訳   | 支出額         |
|------|-------------|--------|-------------|
| 貸付事業 | 225,703,730 | 貸付事業支出 | 223,900,000 |
|      |             | 貸付保険金  | 1,803,730   |

### 公益文化事業の実施状況

#### ○岩手教育芸術祭

教育関係4団体主催で、「岩手教育芸術祭」を実施しました。

- ・美術展(11月11日～14日) ・合唱「コーラスネットワークいわてコンサート」(11月4日)
- ・文化講演会「三橋美穂氏 講演会」(12月9日)

#### ○いしがき MUSIC FESTIVAL 2023

9月24日、盛岡城跡公園等を会場として開催された「いしがきMUSIC FESTIVAL 2023」に教育関係4団体で協賛しました。

#### ○学校及び児童生徒活動支援

教育文化の向上に資するため、県内の小・中・高等学校及び特別支援学校に対し、図書カードを寄贈しました。

#### ○公益財団法人に対する寄附

公益財団法人が実施する東日本大震災特別奨学金事業、教育・学術及び文化振興事業、生涯スポーツ振興事業に対し、寄附を行いました。



## 理事会・評議員会開催状況

理事会、評議員会では、以下の議案について審議され、いずれも原案どおり承認をいただきました。  
(互助会報No.252紙面掲載以降の状況)

### 第1回理事会

令和6年5月22日(水) 開催

- 議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算(監査報告)について
- 議案第2号 公益目的支出計画実施報告書等(監査報告)の提出について
- 議案第3号 一般財団法人岩手県教職員互助会常務理事の選定について
- 議案第4号 令和6年度第1回評議員会の開催について

### 第1回評議員会

令和6年6月14日(金) 開催

- 報告事項 公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- 議案第1号 令和5年度事業報告及び収支決算(監査報告)の承認について
- 議案第2号 一般財団法人岩手県教職員互助会評議員(残任期間)の選任について
- 議案第3号 一般財団法人岩手県教職員互助会理事(残任期間)の選任について
- 議案第4号 一般財団法人岩手県教職員互助会監事(残任期間)の選任について

## 評議員・役員名簿

6月14日に開催された評議員会において、定期人事異動等による辞任に伴い欠員の生じた評議員、理事及び監事の後任者が選任されましたので、現評議員等と併せてご紹介いたします。

任期は、評議員、理事及び監事とも令和7年の定時評議員会終結時までとなります。



(敬称略)

### 評議員

- 飯岡竜太郎 岩手県小学校長会  
(桜城小学校)
- 久慈 孝 岩手県中学校長会  
(盛岡河南中学校)
- 田代 由希 岩手県小中学校副校長会  
(緑が丘小学校)
- 小田美香子 岩手県教職員組合
- 佐々木香奈 岩手県教職員組合
- 福士 晴彦 岩手県教職員組合
- 菊池 省治 岩手県高等学校長協会  
(盛岡第二高等学校)
- 高橋 輝久 岩手県高等学校教職員組合
- 柳田 陽一 岩手県高等学校教職員組合
- 千葉 哲也 岩手県立学校事務職員組合  
(遠野高等学校)
- 千葉 博幸 岩手県教育委員会事務局職員組合  
(学校教育室)
- 沼田 聡 岩手県学校生活協同組合
- 川村 元 一般財団法人岩手教育会館
- 中川 友治 岩手県教育委員会事務局

### 理事

- 菊池 芳彦(会長)  
岩手県教育委員会事務局
- 佐藤 工(副会長)  
岩手県教職員組合
- 大森 健一 岩手県教育委員会事務局
- 前川 岳詩 岩手県小学校長会(盛岡中野小学校)
- 泉澤 毅 岩手県中学校長会(下橋中学校)
- 高橋 克典 岩手県教職員組合
- 三浦 立 岩手県高等学校長協会  
(一関第一高等学校)
- 村上智加子 岩手県高等学校教職員組合
- 水野 鉄也 岩手県立学校事務職員組合  
(盛岡視覚支援学校)
- 菅原ゆかり(常務理事)  
一般財団法人岩手県教職員互助会

### 監事

- 小松 順一 岩手県小中学校副校長会  
(盛岡河南中学校)
- 長谷部友春 岩手県教職員組合
- 川口 史朗 岩手県高等学校副校長協議会  
(盛岡農業高等学校)
- 藤澤 大 岩手県高等学校教職員組合  
(一関第二高等学校)

# 事務局から

## 図書カードを寄贈します

公益文化事業の一環として、県内の小・中・高等学校及び特別支援学校を対象に、図書カードを寄贈しますので、教育文化の振興発展にご活用ください。

- 1 対象校 28校(毎年度)
- 2 選定方法 小・中・高等学校及び特別支援学校ごとに生徒数の少ない学校から順次寄贈します。
- 3 支援額 5万円
- 4 手続き

本年度の対象校には、7月に当会から図書カードの受け入れ調査を行いますので、回答をお願いします。

なお、寄贈を受けた対象校からは、令和7年1月末までに図書カードの使用報告書を提出していただきます。



## 心身リフレッシュ支援助成

会員継続年数が15年又は25年に達した会員の皆さまに、ご希望の旅行券、図書カードを7月10日付で各所属長あて発送しました。心身のリフレッシュにご活用ください。

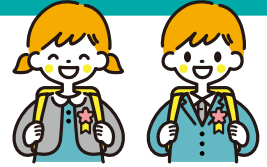


## 小学校入学祝金

小学校に入学されたお子様(平成29年4月2日から平成30年4月1日までに生まれた子)をお持ちの会員の皆さまに、10,000円が給付されます。

まだ請求されていない場合、互助会様式第106号により請求してください。

また、昨年度請求し忘れた方は、請求書右余白に「請求漏れ」と記載して請求してください。



## 給付金受取口座について

互助会では療養給付金等の送金を毎月15日(金融機関の休業日の場合は翌営業日)に行っておりますが、給付金受取口座に名義変更等があった場合に、共済組合に手続きを行っていないと送金ができなくなります。

名義変更等の場合には、速やかに共済組合に所定の手続きをお願いします。

## 資金が必要になったときは互助会の貸付を!

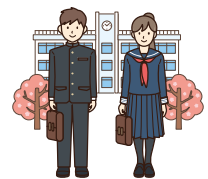
### 生活資金貸付

会員が臨時に資金を必要とするとき  
200万円以内



### 奨学資金貸付

会員又はその子弟が高校・大学等に入学又は修学するため資金を必要とするとき  
200万円以内



### 自動車購入資金貸付

会員が使用する自動車を購入するとき  
200万円以内



### 結婚資金貸付

会員又はその子が結婚するとき  
200万円以内



貸付利率 年0.84%

※年利4.8%のところ、当分の間 特例利率0.84%としています。

貸付に係る条件や必要書類については「福祉のしおり」や互助会ホームページ(<http://www.ik-gojyokai.jp>)をご覧ください。

## 今、学校から

学校生活でのできごと、子どもたちの活躍などを先生方からお伝えいただきます。

奥州市立羽田小学校  
校長 鈴木 恵子

本校は、奥州市水沢の中心市街地から東へ約4km地点にあり、高台にある校舎からは南部鉄器で有名な鋳物工場、水沢江刺駅、水田地帯が一望でき、南東側にはZアリーナや福祉関連施設があります。このような学習環境に恵まれた本校では、ふるさと羽田を愛する



校舎

子どもを育てるために「鋳物と福祉」を柱に地域学習に力を入れています。

4年生では、鋳物工場へ出向き文鎮作りを学習しています。鋳物が盛んな理由や製品が出来上がるまでの工程を、体験を通して学ぶことで、地域の伝統に対する見方・考え方を深めています。将来は自分の鋳物作品を作りたいという夢を語る子供の姿もみられます。

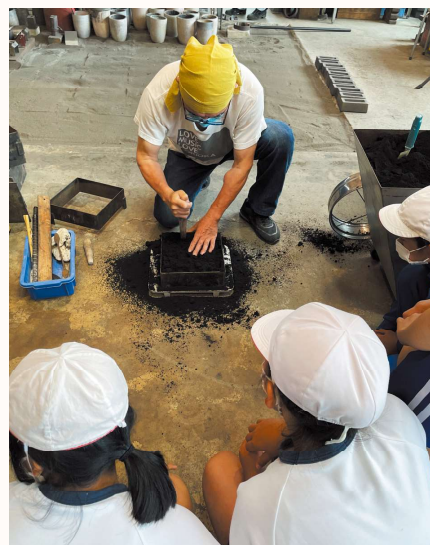
また、ボランティア教育では、福祉施設との交流を絶やさないようにしようと、各学年で工夫しながら取り組みを行っています。ミニレターを届けたり、工作や鋳物工場で取り組んだ文鎮を施設内に展示させていただいたりしております。施設からもお礼の手紙などが届けられ、お互いの気持ちや立場を理解し合うことのできる温かな交流が芽生えています。

秋にはZアリーナ運動広場周辺を利用し、校内マラソン大会を行っています。地域の方も駆けつけ大きな声援をおくってくれます。また、交通誘導を地域ボランティアさんが行ってくれるなど、学校・地域が一体となった行事となっています。

このように、地域とともにある学校として、今後もふるさとの良さの発見・発信を通して「かしこく・やさしく・たくましい・たびする羽田っ子」の育成を目指していきます。



校内マラソン大会



鋳物工場見学

# 表紙写真募集中!

互助会報の表紙を自分で撮った写真で飾ってみませんか?



応募者全員に図書カード  
1,000円分贈呈

- 応募締切 令和7年1月30日(木)  
 応募先 〒020-0022 盛岡市大通一丁目1-16 岩手教育会館3階  
 一般財団法人岩手県教職員互助会  
 (E-mail:g6161-ik@ik-gojoyokai.jp)  
 表彰 次の各賞により図書カードを進呈します。  
 最優秀賞 1点 10,000円  
 優秀賞 1点 8,000円  
 入選 春・夏・秋・冬の部 各1点 5,000円  
 佳作 春・夏・秋・冬の部 数点 3,000円  
 参加賞 選外の応募者全員 1,000円  
 その他 詳細は互助会ホームページをご覧ください。  
 (<http://www.ik-gojoyokai.jp>)

# わたしの見聞録

先生方による旅先の思い出や  
体験記をお届けします。



日タイ友好100周年を記念して全校生徒でつくりました。

平成24年当時のバンコク日本人学校は、小学部60クラス、中学部15クラス、特別支援3クラスで総数2,700名あまりの生徒数で、職員も文科68名、財団50名に加え、他スタッフも併せると150名を超えるマンモス校でした。

自分の与えられた役割は1・2年目が「特別支援コーディネーター」で3年目は「特別支援部長」。特別支援に関しては全くの素人でしたので不安だらけのスタート

でした。  
与えられた役割は大きく3つあります。

1つ目はサポートが必要な子どもの支援。本来、在外教育施設では特別支援学級の設置義務はないのですが、保護者からの要望が高く、小学部に「あおぞら学級」がありました。それ以外に通常学級で支援が必要な子どもにも、派遣教員の同伴者から「ボランティアスタッフ」を募り、TTに入る計画を立て、時には自分もサポートに入りました。

2つ目は不応児の対応。編入してくる子どもの中には、環境の変化になじめず、教室に入れなくなる子が多数存在しました。その子たちに「ふれあいルーム」という教室を用意し、自由に過ごしてもらい教室への復帰を目指しました。また、教室からのSOSがあれば駆けつけ、対応にあたりました。(3年間、トランシーバーを装着していました)

3つ目はカウンセラーとのやりとり。日本の教育委員会に該当する外部機関がないため、保護者や子どもたちと専門のカウンセラーをつなげる役割を果たしました。

任務に当たり、兵庫教育大附属中学校から派遣の教頭先生から特別支援に関す



平成22年度バンコク日本人学校派遣教員です。帰国直前に撮影しました。

るイロハを一から学び、これらの経験が帰国後の岩手の子どもに還元されていると思っています。結局、在任3年間一度も授業を行うこともなく帰国となりましたが、在任中の経験や、一緒に時を過ごした全国各地の同僚とのつながりが、現在もパワーの源となっています。

## PROFILE

プロフィール

盛岡市立松園中学校

教諭

雨宮 克徳



2010年4月～2013年3月  
バンコク日本人学校

# みんなの投稿広場

夏の部

佳作入賞作品



ゴールドラッシュだ！

山崎 隆士

宮古市立田老第一中学校



ひまわり

松本 美子

滝沢市立滝沢南中学校

# 岩手の文学風土誌


～啄木・賢治からの贈り物⑦～

## 望月 善次

〔岩手大学名誉教授・NPO石川啄木・宮澤賢治を研究し広める会理事長〕

# 名作紀行

第六十回

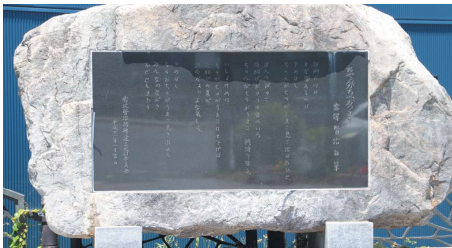


啄木と賢治の  
チャグチャグ馬コ

最近のチャグチャグ馬コとの  
違いを中心にして



芋田駒形神社(盛岡市汲民)



賢治歌碑「ちゃんがちゃがうまこ」(盛岡市下ノ橋)

暑中お見舞い申し上げます。  
海面水温の上昇等による異常気象が続いて、今年の夏も相当な暑さが予想されていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。この原稿を書いているのは、六月の下旬で梅雨の最中ですが、皆様のお手元に届けられるのは、夏休み前か夏休みに入った頃になるのでしょうか。

今回は、既に六月八日(土)に終わったところですが、「チャグチャグ馬コ」を取り上げたいと思います。啄木と賢治はチャグチャグ馬コをどう記しているかを辿り、当時と最近のチャグチャグ馬コがどう違っているかを見ようかと思えます。(以下の引用の太字・傍線は、いずれも望月が付けたものです。)

先ず啄木です。

「渋民日記 一九〇六(明治三十九)年八月六日に次の様に記しています。

六日は陰暦の六月十七日で芋田にある村社駒形神社の祭典、所謂「お登前さま」であった。夜の明けぬうちから近郷の若者が馬を駆つて参詣をする。昔の戦絵にある様な、紫、紅、朱……様々の美しい飾を着た馬が鈴の音、嘶ぎの声、勇ましく跑を踏んで暁の村路を急ぐ様は、さながら幾十年の歴史を逆上りしたかの

やうに感ぜられる。乗手は、或はコサアケ兵の様な立派な若者、或は十三の兎の初乗、或は二八、二九の少女である。……いづれは皆「みちのくの詩」である。此日かゝる馬は駒形の社前に幾百となく集つて来るのである。『石川啄木全集 第五巻 日記I』(筑摩書房、一九七八) pp.106～107

全部で七つの指摘をしますが、啄木から始めますので、共通なことはこちらで記すことになるでしょうから、賢治の場合に比べて、啄木の叙述が多くなると思いますが、その点は御承知ください。

第一は、啄木は「チャグチャグ馬コ」という言葉を使っていないことです。「チャグチャグ」は、鈴の首の文字化の形ですが、この文章ではその具体には及んでおりません。

第二は、日付が「八月六日」となっていることです。実はこの部分は「八月中(書中休暇中)」として纏めて書かれたものですが、それだけに「日録的」な記録ではなく、「文学的」なものとなっているのですが、この「文学的」という特徴は啄木日記全般に通じることでもあるのです。

第三は、行われる日にちの問題です。これも、例えば現在のチャグチャグ馬コの出発点鬼越蒼前神社の場合ですと、元々は、旧暦の五月五日だったものを昭和三十三年からは六月十五日、平成十三年からは、六月第二土曜日としたことは、多くの皆さんの御承知のことでしょう。

第四は、「駒形神社」についてです。「駒形神社」自体は、東北の地にくつかるのですが、元々は、駒ヶ岳の神霊を祭ったものではないかと言われていますが、祭神の「駒形神」は「駒」の名前から「馬の守護神」と

され、神仏習合の歴史の中で馬頭観音や大日如来と習合したものと考えられます。「蒼前さま」も「厩神(うまがみ)」としての共通性を持ちますから、「駒形神社」と「お登前さま」は、一体化しているところも少なくないのです。鬼越蒼前神社の場合もその例になっています。

第五は、乗り手についてです。現在は、児童の場合ですと「小学校一～三年生/公募」だということですから、これも啄木の時代とは変わっているところでしょう。

第六は、その規模です。現在は、おおよそ一〇〇頭と言ったところでしようが、芋田駒形神社には、数百頭が集まったといえますからその規模の大きさも予測できるでしょう。

最後の第七は「文学性」です。「みちのくの詩」と纏めてみせるころなど、流石というものでしょう。

次は賢治です。

「ちゃんがちゃがうまこ」四首」とされているものを掲げることになりました。【歌稿B537～540 pp.229～230】

夜明けには  
まだ問あるのに  
下のはし  
ちゃんがちゃがうまこ見さ出はたひと。

ほんのびやこ  
夜明けがった雲のいろ  
ちゃんがちゃがうまこ 橋渡り来る。

いしよけめに  
ちゃんがちゃがうまこはせでげほ  
夜明けの為が  
泣くだいよな気もす。

下のはし  
ちゃんがちゃがうまこ見さ出はた  
みんなのながさ  
おどともまきり。

【新校本宮澤賢治全集第一巻 短歌・短唱

第一は、この短歌作品が「地域語(方言)」で書かれていることです。短歌は、日本が世界に誇ることに由来する詩型で「五音」「七音」を原則として「五七五七七」の順序で重ねて行くものです。共通語でも、地域語でも、現代語でも、古典語でも包み込める詩型です。

賢治が、短歌詩型についてどれほど認識していたかは分かりませんが、賢治の盛岡高等農林学校時代の文学活動のほとんどが「短歌」であったこと、最終的な多行書きの採用と並んで、「方言短歌」の画期的な試みの採用と並ぶことは強調しておいて良いことでしょう。

第二は、馬をどの方向から見ているかということです。

現在のチャグチャグ馬コは、鬼越蒼前神社から出発したものを見物するのですが、当時のチャグチャグ馬コは、各地域から神社へ向かう馬を見物したのです。また、その様子も静々と進む行列を見たのではなく、それぞれの馬が疾駆するのを見たのです。

第三は、その時期です。賢治が盛岡高等農林学校の三年次のことでした。当時の盛岡高等農林学校は、一年生の時は原則として全寮制。二年次になるとそのうちの優秀な生徒のみが残って寮長になって新入生の面倒を見たのの出会いでした。三年次になった賢治は、丁度弟の清六が盛岡中学校に入学したので、寮を出て下ノ橋近くの玉井郷芳宅に清六達と共に下宿していたのです。

今回の「啄木と賢治のチャグチャグ馬コ」は、いかがでしたか。同じチャグチャグ馬コをめぐるでも、そこに歴史の変遷などを味わって戴けるならありがたいことです。

次回は、実りの秋の頃にお会いすることになるのでしょうか。皆さんの上をお祈りしながら。

本文篇』(筑摩書房、一九九六) pp.229～230。\*歌稿B537～540 pp.229～230】